

第7章目標達成のための施策・事業

修正前

P122 事業別シート

施策展開の基本的な考え方や基幹公共交通軸方面別の展開方針に沿った計画の目標を達成するための事業として、以下の20事業に取り組みます。

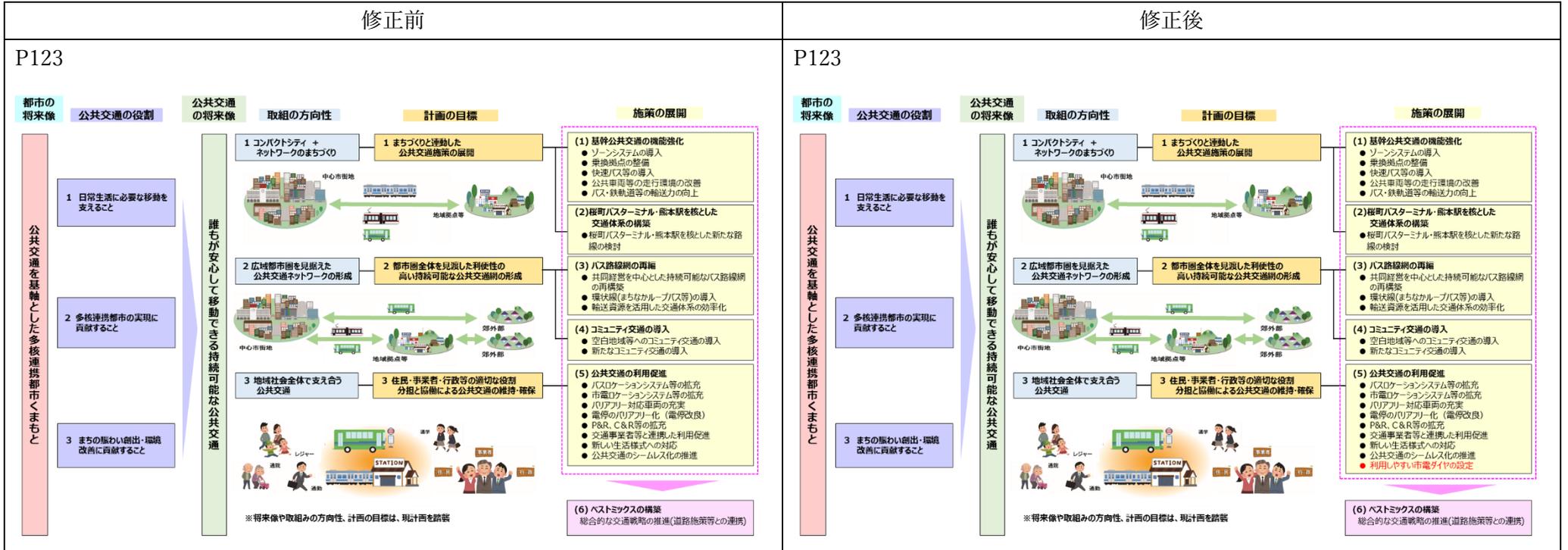
事業名称	事業スケジュール	
	前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R7年度)
事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施
事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施
事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施
事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討
事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施
事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施
事業(6) 桜町バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施
事業(7) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施
事業(8) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施
事業(9) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施
事業(10) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施
事業(11) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施
事業(12) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(13) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(14) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施
事業(15) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施
事業(16) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(17) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施
事業(18) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施
事業(19) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施

修正後

P122 事業別シート

施策展開の基本的な考え方や基幹公共交通軸方面別の展開方針に沿った計画の目標を達成するための事業として、以下の21事業に取り組みます。

事業名称	事業スケジュール	
	前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R7年度)
事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施
事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施
事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施
事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討
事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施
事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施
事業(6) 桜町バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施
事業(7) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施
事業(8) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施
事業(9) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施
事業(10) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施
事業(11) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施
事業(12) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(13) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(14) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施
事業(15) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施
事業(16) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施
事業(17) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施
事業(18) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施
事業(19) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施
事業(20) 利用しやすい市電のダイヤ設定		検討・実施



修正前	修正後																											
<p>(新設)</p>	<p>P145</p> <p>事業(20)：利用しやすい市電のダイヤ設定</p> <table border="1" data-bbox="1238 295 2033 480"> <tr> <td>実施の目的</td> <td colspan="3">公共交通の利用促進</td> </tr> <tr> <td>事業の概要</td> <td colspan="3">市電のラウンドダイヤの拡充</td> </tr> <tr> <td>主な事業エリア</td> <td colspan="3">市電運行区間</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>交通事業者(熊本市交通局)</td> <td rowspan="2">実施時期</td> <td>前期</td> </tr> <tr> <td>関連目標</td> <td>目標②</td> <td>(新規)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>検討・実施</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※地域公共交通利便増進事業</p> <p>現在、熊本市電では平日の一部の時間帯で運行時刻のラウンド化(運行時刻を毎時間同じ時刻に出発)を行うとともに、運行間隔を一定にすることで利用者にとってより分かりやすい発車時刻になるよう取り組んでいます。</p> <p>今後は、土日祝日に関しても昼間帯のダイヤをラウンド化及び等間隔化する事で、利用者の更なる利便性向上を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[ダイヤのラウンド化] 毎時間同じ時刻(毎時同分)に電車が出発するようにすることで、利用者は発車時分が記憶しやすくなる。</p> </div> <p style="text-align: right;">▲ラウンドダイヤ・等間隔ダイヤのイメージ</p>	実施の目的	公共交通の利用促進			事業の概要	市電のラウンドダイヤの拡充			主な事業エリア	市電運行区間			実施主体	交通事業者(熊本市交通局)	実施時期	前期	関連目標	目標②	(新規)				後期				検討・実施
実施の目的	公共交通の利用促進																											
事業の概要	市電のラウンドダイヤの拡充																											
主な事業エリア	市電運行区間																											
実施主体	交通事業者(熊本市交通局)	実施時期	前期																									
関連目標	目標②		(新規)																									
			後期																									
			検討・実施																									